

科目	政治・経済
----	-------

担当者名 氏名 東 誠司 ・ 江戸 健人

教科	公民	単位数	2	学科・学年	全学科・3年
使用教科書	最新政治・経済新訂版(実教出版)			副教材等	なし
授業の概要	広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深めさせ、現代における政治、経済、国際関係などについて客観的に理解させる。また、それらに関する諸課題について主体的に考察させ、公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力を育てる。			学習の目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 民主主義の歴史・原理を理解します。 2 現代の政治・経済・国際関係の動向やしきみについて理解を深め、基本的な見識を身に付け、主権者としての自覚を高めます。 3 政治・経済・国際関係に関する諸問題について主体的に考察し、様々な考え方を理解することにより、公正な判断力や健全な批判力を養います。
学 習 内 容				評価の観点・評価方法等(※学期ごとに下記の項目で評価します。)	
1 学 期	第1編 現代の政治	第1章 現代国家と民主政治 第2章 日本国憲法と基本的人権 第3章 日本の政治制度と政治参加	関 心 ・ 意 欲 ・ 態 度	【趣旨】 ・現代における政治、経済、国際社会について関心を高め、意欲的に課題を追究しようとしている。 ・平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身に付け、社会の一員としての自覚を深めようとしている。	【評価方法】 ・授業中の態度、課題レポートへの取り組み、学習プリントの提出等で評価します。
				【割合】 ・20%	
2 学 期	第4章 現代の国際政治 第5章 日本の平和主義と国際平和	第2編 現代の経済 第1章 経済社会の変容 第2章 現代の日本経済と福祉の向上 第3章 現代の国際経済	思 考 ・ 判 断 ・ 表 現	【趣旨】 ・国内外の政治、経済が抱える様々な問題について課題を見だし、問題の本質や人間の存在及び価値などについて広い視野に立って多面的・多角的に考察しようとしている。 ・国内外の社会の変化や様々な考え方を踏まえて公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	【評価方法】 ・テスト、授業中の発表、課題レポート等において評価します。
				【割合】 ・20%	
3 学 期	第3編 現代社会の諸課題	1 地域社会の変貌と住民生活 2 雇用と労働をめぐる問題 3 少子高齢社会と社会保障	知 識 ・ 理 解	【趣旨】 ・現代社会の政治や経済、国際社会のしくみと国際社会に生きる一員としての基本的な事項を理解し、その知識を身に付けている。	【評価方法】 ・テスト、課題レポート、授業中の発表等において評価します。
				【割合】 ・50%	
			そ の 他	・学年末の評価は、1学期、2学期、3学期の評価を総合して行います。	
課題提出物等	<ol style="list-style-type: none"> 1 定期的に、学習プリントや配布した資料の整理・記入状況をチェックします。 2 夏季休業・冬季休業には、さまざまな社会事象にかかわるレポート作成と提出を課します。 				
担当者より	<ol style="list-style-type: none"> 1 授業は教科書や電子黒板、学習プリントを利用し、発表や質疑応答などを通じて主体的に学習できる授業を行います。 2 日々の学習内容については、復習ノートを作成するなどの復習活動を確実にし、速やかな内容理解に努めましょう。 3 積極的に授業に参加するとともに、政治に対する興味関心を深め、主権者としての意識を高めましょう。 4 最新のニュースなどを紹介する時間も設けますので、政治や経済についての見方が広がり、考えも深まることを期待します。 				